

大阪

おおさか支局

〒530-8251 (住所不要)

毎日新聞社会部おおさか支局

TEL06・6346・8443

FAX06・6346・8444

メールは、
読者の皆
マなど、【購読お
フリご近所の
お医者さん□
573
□半田あつたか
クリニック院長

松向寺孝臣さん

＝大阪狭山市



「ストレスチェック制度」の特長を三つ挙げると、一つ目は自分がストレス下にあるかどうかを知ることが出来ます。二つ目は職場ごとの比較評価をすることが出来ます。三つ目は高ストレス者は医師や公認心理師の面接を受けることができます。

(府医師会広報委員会委員)

死因第1位は自殺です。50歳以上になると悪性新生物いわゆるがんが第1位になります。また、労災認定件数でも精神障害は高止まり状態になっています。病名でいうと、主にうつ病

できない状態になり、ただこの場所から消えてなくなりたいと思ひ、自殺を考えるとという患者さんを診てきました。

このコラムに登場する多くの医師は、日々の診療以外にも嘱託の産業医として、「ストレスチェック制度」にかかわっています。私も産業界の一人として、働く人の健康を守るといふ熱い使命と、なんでも相談を持ち掛けられる懐の深さを目指して、今日も衛生委員会(月に1回開催される事業所の会議)に出席してきます。

過労死減らすために

にはそんな
思いが込め
られていま

2015年から始まった、職場で行われる「ストレスチェック制度」をご存じですか? どういう背景があってこの制度が生まれたかを紹介いたします。

日本人の自殺者数は減少傾向にあるものの、働

き盛りの若い世代(20〜49歳)の死因第1位は自殺です。50歳以上になると悪性新生物いわゆるがんが第1位になります。また、労災認定件数でも精神障害は高止まり状態になっています。病名でいうと、主にうつ病

や適応障害となります。仕事量に処理能力が合わず長時間労働になることや、人間関係からストレスを感じて気持ち沈み、日常生活に支障を来します。最初はささいな症状だったものが、気づかないうちに適切な判断が

ストレスチェック制度

受けることができます。

私たちは現在、コロナ禍という今まで経験したことのない時代を生きなければなりません。仕事のやり方も変化してきています。リモートでの仕事が増える中、周囲からのサポートを直接受ける機会が減っています。過重労働と孤立、この二つをどうにかして減らしたい。「ストレスチェック制度」